

鹿沼ロータリークラブ会報

Rotary



CREATE HOPE
in the WORLD

(2023-2024 年度 RI テーマ)

例会場 日晃そば コンベンションホール TEL : 0289-65-2525

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 鹿沼市中田町 1351-1

E-mail: info@kanuma-rc.com

TEL : 0289-60-5077 FAX:0289-60-5078

HP: http://www.kanuma-rc.com/

第 2550 地区 第 7 グループ

創立 1960 年 1 月 23 日

承認 1960 年 2 月 13 日

会長 高山 英 幹事 橋本 勝浩

例 会 報 告

No. 35 2024 年 4 月 18 日 第 2936 号

- ◆ 司 会 SAA 浅野知則 さん
- ◆ 点 鐘 会 長 高山 英さん

◇いただきます当番・今井 一也さん



- ◆ 斉 唱(曲目) それでこそロータリー

お客様紹介 一般社団法人コブル

代表理事 中尾 貞人 様



会社は、鹿沼市内の、白桑田のセブンイレブンの近くに
あります。

鋼材を加工、溶接を行っている会社です。よろしく
お願いします。

11 月 9 日に入会いたしまして、まだ5か月足らずで
右も左も分からない状態です。皆さんと和気あいな
いとやるのが好きなので、今後ともよろしくお願
いします。

ロータリーの方は、小学校中学校で学級委員長をや
られていたような方が大多数なのかなと思います。
手前味噌ですが私もあるのですが、みなさん気の利
く方で、頭もよくてボランティア精神が旺盛で、と
いう方なのだと思います。これから勉強するつもり
でロータリークラブに参加させていただきます。

◇ 会長会務報告 会長 高山 英さん



今週の火曜に、嫁さんが誕生日なものですから、日立の海浜公園に連れて行ってあげたんですが、ネモフィラが見ごろだと聞いていましたが、それよりもチューリップが見事に咲いていました。

ただ、周りの人は、私たちのほかに日本人はいないのかと思うくらいに外国の方が多くいらっしゃいました。もしみなさん時間があれば、行ってみてください。花が好きじゃない僕でも感動したものですから、奥様方でも連れて行ってあげると喜ばれるんじゃないのかなと思いました。

先週は瀬谷さんにお世話になりまして、里崎さんをよんでもらったのですが、1時間があっという間で、大したおもてなしもできずにお戻りいただきました。サイン色紙を描いていただきました。20名の方に差し上げたいとおもいますので、ご希望があれば幹事までお越しください。

講話では、みなさん紳士的に聞きいただいて、これからいろいろ卓話があると思いますが、もし必要があって会話をしなければならない場合は、壇上からはよく見えますので、会場の外に出ていただいて話をしていただければと思います。

自分が思っているよりも自分の声は大きいと自覚していただいて、卓話の最中は私語は謹んでいただくようお願いします。

◇ 幹事報告 幹事 橋本 勝浩さん



- 1 職業奉仕委員会・クラブ奉仕委員会合同セミナー
4月28日(日) 13時～
ホテルニューイタヤ
- 2 4月25日 あしぎん・黒崎支店長入会式
(職場異動によるもののため、承認は省略する)
- 3 4月25日 第11回理事会

◇ 一年交換留学生について
副会長 岩本泰史さん
国際奉仕委員長 大貫定之さん



岩本副会長

来年度の、今年の8月から、1年交換留学生を引き受けてほしいという話になりまして、受け入れざるを得ないかなという状況になりました。皆様大変お忙しいとは思いますが、1名受けますので、ご協力をいただきたいとおもいます。ホストファミリーを4件か5件くらい選定して報告するのですが、まずは1番目のホストファミリーが8月末から何か月かになるかと思いますが、現在募集していますので、できれば若い方に受けてもらいたいと思うんですが、お子さんが既に大学で地元にはいないという方でも結構です。留学生は、台湾の台南市からいらっしゃる

ます、今年17歳の男の子です。

受け入れは、鹿沼商工で受けていただく内諾になっています。詳しくは大貫さんの方から話をさせていただきます。



大貫委員長

今回、留学生のカウンセラーを仰せつかることになりました。カウンセラーとは、あくまでも生徒側の立場になるという形になるようですので、何か学生に問題があったときに、そちらの立場で解決するという重要なポジションだということです。よろしくをお願いします。

黒田さんが会長のときに私が幹事だったのですが、そのときアメリカからマリアという女の子を交換留学生として受け入れたのですが、非常にうまくいった思い出があります。ですので、今回皆様のご協力をいただいて、よい思い出になるようにしていきたいとおもいますので、よろしくをお願いします。

◇ 委員会報告

◇地区研修協議会

副実行委員長 星野詠一さん



4月14日、地区研修協議会、皆様のご協力、あり

がございました。500名近い肩をお迎えするにあたって、皆様方にご出席いただいたおかげで、無事進めることができました。感謝申し上げます。

いよいよ市田年度が始まります。地区大会が11月末、12月にございます。地区研修協議会は500名でしたが、地区大会は1600名規模となりますので、どうか全員出席をいただいて、ご協力いただければと思います。

◇卓話 一般社団法人コブル
代表理事 中尾貞人 様

司会

◇社会奉仕委員会 委員長 香川 道雄さん



ひきこもりの現状や、企業様に期待される役割というのを、私なりに話させていただきたいと思います。

15歳から64歳までのひきこもりと言われている人たちが、いま全国で146万人という調査結果があります。また、小中学校の不登校児の数が30万人です。ちなみに、鹿沼市の不登校の数は200人くらいと聞いています。

合わせると、全国で176万人がいるということに

なります。およそ70人に1人です。

鹿沼市の場合はどうかという、人口から考えると、2100人くらいがひきこもり、不登校という計算になります。この2100人が小さいのかということですが、ちょっと考えてみますと、当事者にはそれぞれ親兄弟がいる場合がほとんどです。単純に、2人、2親等の親族を考えると、4200人以上がほぼ直接的に関係をしているわけです。

つまり、23人に1人は、引きこもりがいるご家族ということになります。

ということは、50名以上の従業員を雇用している企業であれば、その従業員のうち2人が不登校、ひきこもりのご家族を持っていても不思議ではない状況ということなのです。

それで、そういう状況で、従業員の生活の質はどうだろうということなのです。ひきこもりや不登校の家族が気になっている状態で、日々仕事をするという、業務に与える影響は、どうなのでしょう。

今ここに集まりの方は、鹿沼市を支える一翼と言える方だと思いますが、その鹿沼市が、果たして、住みやすい、子育てしやすい鹿沼と言えるのか。

と、私個人としては思うわけです。

そういう現状がある中で、不登校、ひきこもりになる要因、原因ではなく要因についてです。

精神的な問題として、発達障害、うつ病、不安障害などがあります。それから、家族仲が悪いなど家族関係の問題、学校や職場に行くことに対する不安、学業不振や職場での不適応、経済的な困窮などです。どれか一つではなくて、これらが重なることで、社会的な孤立や、自己肯定感が失われたりする。そういったことから、自分の身を守るために起こしている行動ということなので、ひきこもりというと、気合がないとか怠けているとか思いがちですが、そういう面も全くないとは言いませんが、ほかにも要因があるとご理解いただけると見る目が変わってくるのではないかと思います。

ということで、もしこれを解決しようとする、様々な協力が必要になってきます。この図に、BPSモデルというものが書かれています。このモデルはソーシャルワークをしている人のなかでは一般的なもののなのですが、困難を抱えている人の側面を、B（生理学的）、P（心理学的）、S（社会的）で洗い出していき、相互作用でどうなっているかを考えるものです。

例えば、体に何か不具合があってひきこもっている場合は医療のフォローが必要となります。また、心理的な問題、うつ病などの場合は、医療や家庭でのフォロー、あるいは、地域での活動、コミュニティの参加などもあると思います。

皆様の、企業としての、就職先としての役割としては、このSの部分において大きな役割を果たしています。

このモデルに従ってみると、たくさんの分野の連携が必要だとわかるんですけど、この連携が難しいのでなかなか解消していかない現実があります。

職場の大切さということで、ひきこもりの原因についての図ですが、退職したこと、人間関係、職場になじめなかったこと、就職活動が上手くいかなかったこと、というような、職場関係のことが上位に入っています。職場でのきっかけからひきこもりになる方がいらっしゃいます。

また、見逃されがちですが、ひきこもりの子を世話するために退職する方が一定数います。もちろん皆さんには「うちの子がひきこもりなので辞めます」とは言いませんが、ただ、うちに相談しに来る方の多くが、特に女性の方ですが、今まで仕事をしてきたけれど、子どもが家にいる間に何をするか分からない、心配なので仕事を辞めたという方がいらっしゃいます。メンタルヘルスの悪化や人材の損失につながります。

皆さんも人を雇っていく中で、年数がながいほど経験や業務効率が上がる中で、そういう方がやめていくのは損失になると思います。

逆に、職場でのサポートを受けて就労につながることでひきこもりを脱する方が多いです。就労をしたからひきこもりを脱するというのは、いろいろ言われるのですが、やはり就労は大きなきっかけになります。

ひきこもりから脱するゴールが、仮に就労であるとするならば、企業の果たす役割は大きいと考えています。とはいえ、ひきこもりの方を雇用するのはなかなか大変です。

メリットデメリットを考えると、まずデメリットですが、今障害者雇用枠で雇用すると、国から補助金がもらえます。しかし、ひきこもりの方の多くは、障害者手帳を持っていません。そうなりますと、企業としては社員に手がかかる上に、結局やめてしまう可能性もある。そういうデメリットはあります。

ではメリットを考えてみると、慢性的に人材不足になっている業界でしたら、その解消になる可能性があります。

また、ひきこもりの方が業務がしやすいように、手順を整えたりマニュアル化したりすると、引きこもりでない従業員の方たちにとっても、ミスなく早く仕事ができることにつながる、ある意味作業などを見直す機会になると思います。

そのほか、社員教育の質の向上があげられます。コミュニケーションが苦手な方にもしっかりとした教育ができるスタッフを育てることにつながると思われれます。また、地域貢献にもなると考えております。

企業様へのサポートについてですが、鹿沼市社会福祉協議会がすすめている、中間的就労制度があります。雇用をすると、契約を結んで最低賃金を支払うことが必要になってくるのですが、中間的就労制度を使いますと、最低賃金以下でも雇用することができます。なので、労基などの法律面をクリアできる。また、支援員が職場まで同行してサポートするジョブサポート制度や、地域貢献として、ひきこもりを支援している企業として認証を出すとか、ひきこもりについて理解する研修なんかをさせていただければとおもっています。

これからは、うちの法人の活動の紹介をさせていただきます。訪問サポート、カウンセリング、勉強会、FPの個別相談、国際貢献、就労体験、居場所の運営、仕事の提供などを行っています。

訪問によるカウンセリング、心理療法や、支援者の勉強会ということで、行政の方や有志の方向けに行っています。行政の方は、3年くらいで異動があるので、引き継いだ方が経験がない状態で相手をする人が多いので、そういった方向けの勉強会や、ご家族が本人に対してどう接したらいいのかといった勉強会なんかを実施しています。

FPの相談としては、今問題となっている8050問題のような、親が高齢の方向けの個別相談や、収入と支出がどうで、子どもが何歳までだったら引きこもれるのか、といったことを計算していくなど、話をしています。

そのほか、フェアトレードを通じた国際貢献や、カフェでの就労体験、ひきこもりやひきこもりがちな

ど。

また、仕事の提供ということで、在宅でコーヒー豆の選別作業や、コーヒーのドリップパックをつくる作業をしてもらい、取りに行くときに本人と話をするような活動もしています。また、コーヒーパッケージに使っている絵は、障害のある方がアート教室などで書いたものを採用させていただいて、毎年、使用料というか、お支払いしています。他のところでもやっているところは多いのですが、ほとんどが、A型、B型などの福祉作業所でやっています。就労のところで申し上げましたが、ひきこもりの人たちは、紹介などがとれないというか取りたくないというか、そういうところがあります。そういった方の仕事をねん出するために、障害がある方の力をお借りするところが他と少し違うかなと思っています。

今回、「かぬま不登校・ひきこもりサポートガイド」をつくりました。相談先やサポート体制についてみていただけるよう配布しました。

来月26日、ひきこもりフォーラムイン鹿沼が開催されます。林恭子さんの講話や意見交換があります。ぜひご参加ください。

質疑応答

Q 行政の支援について、ここがこうなればいいのに、というようなことはありますか？

A 支援は多様性が大事だと思います。行政ですと、一般的にこうすればいいと言われているようなスタンダードなことを行って、むしろそれ以外できないところがありますが、市民団体的なところだと、行政ができない支援をすることもできます。行政は行政のやり方でいいし、うちうちの支援の仕方がある。両方あることが大事だと思います。



◆ ふくべ報告

16433円

◆ スマイルBOX

今井 一也さん：⑤ 明日は絶対勝ちます。応援よろしくお願ひします。

宇賀神貴洋さん：⑤ 先日は地区研修お疲れさまでした。星野さんのカンペのおかげでちょっと間違えただけですみました。ありがとうございました。早退します。

宇賀神貴洋さん：⑤ 先週の里崎さんの話はとても面白かったです。瀬谷さんありがとうございました。

大塚 政人さん：⑤ 今日はなぜか朝からカレーの口になっていました。襟を正して例会に来たところ、果たしてお昼はカレーライス！しかも大ぶりのカツがオンしています。願いはかなうものと改めて思い知らされました。

香川 道雄さん：⑤ 弊社経営のスウィン宇留野宮スイミングスクールの松下知之選手のパリオリンピック出場が決まりました。応援よろしくお願ひします。

香川 道雄さん：⑤ 中尾貞人様 卓話ありがとうございました。

狐塚 泰久さん：⑤ 地区研修、協議会 皆様お疲れさまでした。地区大会もがんばりましょう！

星野 詠一さん：⑤ 地区研修、協議会 皆様ご協力ありがとうございました。

若松 伴睦さん：⑤ 先だって、池田さんから「若松さんのスマイルは7割が奥さんのゴルフ話」と言われたので、「でも2割は池田さんのコーヒー話ですよ」と返しました。とすると、ロータリー関連の話は残る1割弱になります。これでよいのだろうかと思う日も、たまにあります。

※①結婚記念・②本人誕生・③夫人誕生・④出席記念・⑤その他

出席率報告

| 会員数 | 出席数 | 前日々々 | 免除 | 欠席 | 出席率 |
|-----|-----|------|----|----|-------|
| 63 | 33 | 4 | 0 | 26 | 58.7% |

◆ 点 鐘 会 長 高山 英さん

● 市田ガバナー年度に向けてのスケジュール

2024年

- ・ 5月25日(土)～29日
RI国際大会 シンガポール大会
- ・ 7月～12月
ガバナー公式訪問
- ・ 11月8日(金)
地区大会記念ゴルフ大会
- ・ 11月30日(土)
24-25 地区大会会長幹事会 晩餐会
- ・ 12月1日(日)
24-25 地区大会 本会議

● 次回 4月第4例会 4月25日(木)

場 所：日晃そば コンベンションホール

時 間：12時30分～

(発行責任者：鹿妻 武洋・岡村貴史)